

一般社団法人栃木県老人保健施設協会 平成30年度第1回職員研修会

- 1 日 時 平成30年11月27日(火) 9時50分～15時50分  
受付9時20分～
- 2 会 場 パルティ(とちぎ男女共同参画センター) パルティホール  
〒320-0071 宇都宮市野沢町4-1 (地図参照)  
受付場所 パルティホール前
- 3 内 容 「事例発表会」  
事例内容は別紙参照
- 4 日 程  
9時20分～9時50分 受付  
9時50分～10時00分 開会・あいさつ  
10時00分～11時50分 事例発表会  
11時50分～13時00分 昼食休憩  
13時00分～15時50分 事例発表会  
15時50分 閉会・解散

**※ 会場は出入り自由です。**

- 5 対象者 本会の会員施設職員(従事年数・職種を問わず)及び老人保健施設に興味のある方
- 6 申込方法  
別紙【参加申込書】により事務局あてFAXもしくは電子メールにてお申し込みください。お申込みの締切りは11月2日(金)とさせていただきますので御注意ください。
- 7 その他  
駐車場は会場の駐車場を使用できますが混雑することが予想されます。できる限り公共交通機関の利用や車両の乗り合わせ等の御協力をお願いいたします。

**【会場地図】**



【参加申込書】添書不要 FAX 028-621-5298

一般社団法人栃木県老人保健施設協会事務局 今井 行

一般社団法人栃木県老人保健施設協会平成30年度第1回職員研修会参加申込書

平成30年 月 日

学校名

記入者氏名

連絡先電話番号

No.	氏名	昼食(800円)※ どちらかに「○」を 記載ください。	備考※
1		有 無	
2		有 無	
3		有 無	
4		有 無	
5		有 無	
6		有 無	
7		有 無	
8		有 無	
9		有 無	
10		有 無	

※ 昼食(お茶つき800円)を注文される場合について

昼食を希望の場合、該当箇所に印をつけてください。

昼食代は当日受付でお支払ください。(おつりのないようお願いします。キャンセルの場合は11月20日(火)までに事務局へ御連絡ください。以降の昼食のキャンセルはできませんので、御了承ください。)

※ 途中、入退場される方は、別紙の希望される事例発表の番号を備考欄にご記入ください。

平成30年度第1回職員研修会「事例一覧」

No.	発表時間	発表題名	発表内容の概要	施設名
1	10:00～ 10:15	米麴甘酒を飲用し、便秘改善への効果を試みて	A施設の利用者、半数以上が便秘で下剤浣腸排便といった処置が行われている。そこで、米麴甘酒が便秘に効果があると聞き飲用してもらい、10名中9名に効果があり、下剤の量と便処置が減ったという結果の報告。	同仁苑
2	10:15～ 10:30	入浴の自由化を目指した取り組みの第一歩	当施設認知症専門棟では午後に入浴を提供している。その時間以外に利用者から「今入りたい」と言われても対応することができず、不穏、不眠に繋がるがあった。今回はそのような訴えが多かった対象者を決め、入浴時間の変更を含めた以前の生活に近づけることでどのような変化が現れたかを調べた。	かみつが
3	10:30～ 10:45	下痢を減らせ！ 水溶性食物繊維を使用した経管栄養者の排便コントロール	経管栄養者の下痢が多く、速度調節を行っても改善傾向がみられないため、水溶性食物繊維を使用し、6か月間取り組みを行なった結果の発表。	グリーンヒルズ 21
4	10:45～ 11:00	薬箱を新しくするにあたり、その運用方法を考える	当施設では、夜間帯に看護師が勤務していないことがあり、夕、朝食後の配薬はほとんど介護福祉士に委ねている。今回、薬箱を新しくするにあたり、スタッフがわかりやすく配薬できるよう考えた。	にっこう
5	11:10～ 11:25	陽南笑いヨガで フレイル予防	フレイル予防は高齢者には必要だが難しいことでもある。笑いヨガを使って可逆的に健康寿命を延ばせるのか試みた取り組みについて報告する。	陽南
6	11:25～ 11:40	利用者の安全確保のために	私たちの施設は、原則身体拘束をせずにケアを行っています。しかし、姿勢保持困難で傾きのある場合や認知症により立位困難にもかかわらず、急に立ち上げるなど安全性確保ができないことに苦慮しています。そのため職員の考え方と安全の共通の意識を持つために、安全性の確保のTo Do リストを作成、実施したので、報告します。	陽南
7	11:40～ 11:55	ICFステージングの活用～（いずみ）での有効活用を目指して～	ICFステージング評価の利点や欠点を理解し、当施設の状況に合わせた評価方法を作成していく。	いずみ
8	13:00～ 13:15	認知症専門棟への転棟から見えた老健の特性	当施設では、一般棟での対応困難による認知症専門棟への転棟が、2年間で16件あった。全ケースにBPSDの大きな改善が見られ、内3件は在宅復帰につながった。認知症における老健の特性に気付かされたので報告する。	ヴィラフォーレ スタ(森の家)
9	13:15～ 13:30	拘縮に対するポジションの工夫	屈曲拘縮の進行した高齢女性のポジショニングを見直し、進行の防止と負担の軽減につなげる取組ができた。	高根沢シルバー ホーム
10	13:30～ 13:45	口から食べさせたいー経管栄養でも経口摂取をあきらめないー	私達は経口摂取の拡大とQOLの向上を目指して経管栄養を実施中。2名の利用者に対し、嚥下テストや舌や頸部のストレッチなどのアプローチを行ってきた。しかし、思うような結果を得ることは出来なかった。今回は研究の過程や今後の課題について発表する。	とちぎの郷
11	13:45～ 14:00	人は食べ物を目で味わっている!? ～食欲を刺激する視覚の役割とは～	調理法や食材以外の要素でありコストを掛けずに今まで以上に美味しいと感じる食事を提供することはできないのかと考へ、味覚に大きな影響を及ぼす視覚に重点を置いた盛り付けと食事をする環境を変化させ効果を検証した。	宇都宮シルバー ホーム
12	14:10～ 14:25	施設内におけるインフルエンザ感染を防ぐために～事例を含めて検討～	施設内にて発生したインフルエンザ感染の教訓を基に、感染拡大の原因及び今後の対策を考える。	ケア・ステージ 氏家
13	14:25～ 14:40	終末期における外出を実現した看護の取り組み	終末期及び胃ろうなどの医療ケア、重度な介助を必要とする利用者様の外出支援を看護師の視点からアプローチした事例の報告	お達者倶楽部
14	14:40～ 14:55	在宅強化型老健を目指した施設内パス作りについて	在宅支援の中で施設内のシステム作り及び本人・家族への退所面談アプローチについての取り組み報告	お達者倶楽部
15	15:05～ 15:20	EPA介護福祉士 候補者を受け入れて	EPA介護福祉士候補者を施設へ受け入れて、彼らが安心して仕事ができるまでのサポート内容について報告する。	マロニエ苑
16	15:20～ 15:35	介護福祉士から支援相談員になって見えたこと	介護福祉士として18年間フロアー業務に従事してきた。支援相談員となり、フロアー勤務で培った経験を基に相談業務を行い在宅復帰に至った症例	うつのみや病院 附属
17	15:35～ 15:50	利用者から職員に対する暴力・暴言についての一考察	当施設は入所定員100名の介護老人保健施設です。普段の介護・看護の中で利用者からの暴力や暴言を経験したことをきっかけにアンケート調査を実施した。	しらすぎ荘

※ 時間はあくまで予定です。当日の進み具合で前後する可能性がありますので、時間に余裕を持ってお越しください。